


地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	開所時より、法人としての運営理念を掲げている昨年度の外部評価を受け、今年より法人理念の実現へ向け事業所独自の指針を定めて文章化した。	○ 地域密着型のホームであることを、認識しそのもとにサービスの展開を行っていく。
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	定期的に職員間でミーティングや勉強会を開催し、理念の共有、実践に向け取り組んでいる。	○ 新人、異動、出向受入れ職員に対しても運営理念を伝え、共有化を図っている。
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	運営理念は玄関先に掲示し、家族、来客者に見て頂けるようにしている。	○ 理念をただ掲示するだけでなく、職員側から声を掛け、理解してもらえよう取り組んでいきたい。
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	散歩時等、入居者も含め、挨拶や気軽な立ち話をしたりしている。畑に使う苗を分けていただいたり、レクで作ったお菓子を配って、近所づきあいを深めている。	○ もっと隣近所の人々の参加をしていただけるような、行事、声掛け等を工夫していきたい。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	保育所の運動会、学芸発表会に出かけ、また園児の訪問も受けて、交流が生まれつつある。地域のボランティアの方より手作りの指導を受けて、町の作品展への出品をしている。また、ホーム行事へも参加している。	○ 近隣住民への広報誌読配布を継続して行っていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	「障害老人を支える家族の会」で職員側の体験談等話す機会をもらい、積極的に発言するよう努めている。	○	「障害老人を支える家族の会」へ参加し、認知症の方を抱える家族の悩みや不安葛藤など、本当に生の声を聞かせて頂いている。継続して会に参加できるようにしたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員ミーティングにおいて評価の意識を確認しながら、自己評価を行っている。 外部評価の結果についても、再度ミーティングにて話し合い、次のステップへつながるよう取り組んでいる。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度、民生委員、総合福祉課担当者、家族会代表者、広域連合の方など交え連絡協議会として開催している。参加者の方より多くのアドバイスをいただき、日々のサービス向上へつなげている。	○	今年、介護保険者による実地指導を受け、連絡協議会の場においてホーム入退居者、現入居者のおおまかな状態報告を行うこととなった。今後も続けていきたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議における町、担当者さんとの関わりや介護相談員さんの来施時に情報交換を行い、連携に努めている。	○	職員の方から遠慮なく何でも尋ねることができればと思う。そして色々とアドバイスを頂き、サービスの質の向上につながればと思う。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	各種研修会において、権利擁護や成年後見制度について学ぶ機会はあるが、一部の職員にとどまっている。	○	研修会のみでなく、資格取得学習の際にも触れてはいるが、正しい理解、活用につながる為にも、研修会後の内部伝達会等を通じ、より多くの職員が理解できるよう努めたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入職の際や伝達講習会等において虐待がないよう教育を受けている他、スタッフルームへ張り紙をしたり、マニュアルを読んで理解に努めるなど虐待防止を心がけている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には重要事項説明書を基に説明し、ホームにおける生活状況についても、実際見学をして頂くなどし、疑問点も尋ねている。 今年度はホームから離れている事務所と契約、入所に際して再度連携確認を実施した。	○ ホームにて契約を行う場合と、離れた事務所で契約を行う場合があり、利用者さん及び家族さんがどちらへ来所されても支障をきたさないよう今後も連携を図っていきたく思う。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者を主とし、普段の会話の中でも不満や苦情を尋ね、運営に反映できるように取り組んでいる。また、広域連合相談員さんの日2回の来苑は利用者さんが外部者の意見を表せる機会となっている。	○ 意見など自分から言えない方に対して職員がいかにか利用者様の思いを読み取ることができるのかという所が今後の課題です。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月、サービス利用明細書につけ加え、担当職員が利用者個人の状態、金銭管理状況、職員の移動等についても近況報告書を記入し、送付している。定期的に生活状況を載せたなごみ便りを発行し、配布を行っている。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見や不満、苦情に関して受付窓口の案内を玄関に掲示し、サービス担当者会議の場においても意見を伺い反映できるように努めています。	○ 家族会や、サービス担当者会議、面接時など、家族の方にも意見が言いやすい場を作っていけるようにしていきたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に関くミーティングの他、常時、運営者、管理者は意見や提案を受け付け関係者と協議し、反映できる体制を整えている。	○ 多くの意見、提案が運営に反映されるよう、スタッフ個々の面接等の機会を設けていけたらと思っています。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者様の生活に合わせ、必要な時間帯に、必要な人数のスタッフが確保できるよう、スタッフ同士話し合いを行っています。	○ H19.3月に利用者様の生活に合わせた勤務形態に変更しましたが、今後も必要に応じて話し合いを行っていきたくと思っています。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動、休職等あったが、都度、利用者さんへの説明を行う他、家族さんへも異動等の旨を近況報告書へ書き添えるなどし、理解していただけるよう努めている。	○ 系列の特養との相互研修をH18.11月より実施しており、今までは特用の職員を受け入れるのみであったが、今年度よりホームからの出向も実施した。相互研修受入れは当ホーム利用者にも好評であり、現在は中断しているが、今後も実施できればと思う。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的な法人内研修の他、当ホームにおいて年間研修計画を立案し、職員が順に外部研修へ参加している。研修後は、職員ミーティングの場にて報告、伝達している。	○ 系列の特養との相互研修により違う環境で働きながら主に介護技術や新しい知識を学ぶことができていると思う。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会が主催する年1回の相互研修会の他、外部研修へ参加することで同業者とのネットワークづくりに取り組んでいる。	○ 研修会等を通して出会う同業者とのつながりを大切にし、連絡を取り合いながら相互訪問などへ発展することができればと思う。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	個々に抱える悩みやストレスを職員同士が気兼ねなく話せるような環境であることを目指している。また、職員親睦会による食事会や研修旅行などの場がストレス軽減につながっている。	○ 職員の休憩場所は主にスタッフルームであるが、入居者さんも利用する場であるので、職員の落ち着ける環境を作る事ができればと思う。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	定例ミーティング等を通じ運営者と職員が適宜話し合い、意見交換を行う他、運営者から管理者、職員へのアドバイスの場でもあり、さらなる向上を目指す機会となっている。	○ 職員個々に利用者さんの対する想いは強くなってきていると思うが、更なるケアを行っていく為に介護技術や知識を高め自己のスキルアップと併せて取り組むことができればと思う。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用に至るまでに、ホーム管理者、ケアマネージャーと併設施設の生活相談員で本人様の所へ出向きアセスメントを実施する他、事前ホーム見学の際にも職員と話し合い信頼関係の構築に努めている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家人様との情報交換もしっかり行い、日常より支援内容・相談等にも耳を傾けるよう努めている。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談内容に応じ、ホーム内において回答が難しい場合でも出来る範囲でお答えし、職員で不明な場合は併設施設の相談員へ連絡し対応している。	○	相談援助実務経験職員が少なく、未熟な点が多く、職員も相談援助技術を学んでおらず、併設施設との連携を図りながら職員が学ぶ必要がある。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	新規での申込みの方にはホームの見学を勧め、案内、説明を行いながら場の雰囲気等を感じたり、サービスについて理解して頂けるよう努めている。	○	利用に際し安心して納得して頂けるまで何度でも相談や見学に来て頂けるような環境作り、働きかけができたらと思う。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者様にサービスを提供させて頂いている気持ちを忘れず、利用者様と共に過ごし、学び、そして支えあう姿勢であるよう心掛けている。今年度「理念実現に向けた指針」にも明記した。	○	系列施設との合同ミーティングなどの場においても利用者様がいての私達であることを皆で再認識している。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	緊急時の連絡をしっかりと、面会時の時などは、家族様に利用者様のちょっとした出来事などでも報告するようにしています。	○	最低でも1ヶ月に1回は家族の方も一緒に参加していただける事業を行っていきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族様と利用者様との関係が築いていけるよう、1ヶ月に1回利用者様のホーム内での生活状況を報告しています。	○	利用者様の日々の生活状況や身体的な状況をもっと知っていただく為に面会の声掛けや連絡をもっとしていきたいです。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人との関係などは、こちらから行くということをあまりしていない為、面会時に会っていただくというのが今の現状です。	○	ドライブに出かけた際など、馴染みの場所に出掛けたり、もっとこちらの方から交流できるようにして行けたらよいと思う。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入所者様同士の関係を理解し、スタッフが間に入って入所者様同士の関係を良くしていけるよう支援していきます。	○	少しでも利用者様同士の会話がが増えて行くように支援していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約が終了した利用者の方と外で出会った時など積極的にコミュニケーションをとるように心掛けている。	○	併設施設に行かれた方などの場合、他の利用者様と一緒に面会に行くなどしている。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプラン作成時の際、本人の希望を聞き、それを取り入れたプランを作成し、日々の生活に生かして行っています。	○	体調面において、制限がある利用者様もおられるので、制限があっても利用者の方に納得していただけるようなケアをしていきたいと思っています。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族の方に聞いたり、記録書を見たりとなるべく全利用者の方の今までの生活歴を把握するよう心掛けています。	○	職員間でも利用者様の生活歴など共有していき、その結果、利用者の方にも喜んでいただけるケアを行ってきたいと思っています。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	各担当スタッフごとに、短期間でのアセスメント表などの見直し作成を行い、日々の過ごし方など現状を把握して行うようにしています。	○	利用者の方と一緒に目線に立って、日々の生活をしていけるような支援をしていきたいと思っています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の方や、家族の方にも事前にケアに対しての希望などを聞き、それを取り入れた介護計画の作成を行っています。	○	カンファレンスに不参加の家族様に対しても、事前に意見や希望などを聞き、ケアプラン作成に取り入れています。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画で設定した期間での見直しは行っているが、変化に伴う計画の変更が不十分であり、月1回はモニタリング実施記録時計画変更の必要性を確認し、必要であれば見直し等、実施する事を職員周知したが、変化に追いついていないのが現状です。	○	介護計画に関して事業所内での学習の他、今後法人研修も予定されており、介護計画の必要性を認識しながら計画作成見直しに取り組みたいです。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々にその日の出来事や様子などを、食事、排泄、入浴、バイタルの記録等と併せて記入している。 受診(往診)やリハビリ、特変事項等、医療面については別冊の介護日誌に記入し情報共有している。	○	昨年より申し送り時間の短縮化(直接介護業務時間への充当)を実施しており、記録の重要性が更に高まったと感じている。 記録漏れをしないことを第一に、日々の様子、気づき等記録の残し、介護計画策定へつなげる流れを
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	当ホームと同法人の特養ホーム、居宅介護支援事業所や系列の老人保健施設、病院と連携をとり、協力をいただいている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ホーム近くに警察、消防があり、連絡体制を整えている他、ボランティアの受入れや役場、老人クラブとも連携をとっており、協力をいただいている。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人様の状況、要望に応じて、同法人、系列施設とまずは連携を取り合い、必要と思われるサービスへとつなぐことができるよう、支援を行っている。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	併設の居宅介護支援事業所との連携が中心になりがちであり、地域包括支援センターとの関わりが、まめに取れていないのが状況である。	○	入居者様の意向、必要性に応じて、いち早く地域包括支援センターと協働できる様、日頃からもっと関わりを持つようにしていきたいと思っています。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	併設の医療機関での往診、受診が主であるが、本人様、家族様の希望に応じて、また紹介状を通して、他の医療機関であっても受診できるように体制を整えている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	○	当ホームに看護職員の配置がなく、夜勤帯等職員の不安もあるが、日常的に看護師さんの指導を受けて対処している。
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	○	利用者様が入院された際、職員が自主的にお見舞いとして入院先に行っており、その際、病院関係者との情報交換に努めているが、ホームとして医療機関との連携を構築していかなければならない。
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	重度化や終末期への対応については、内外での研修等において学ぶ機会があるが、スタッフ個々の意識、そしてチームでのケア向上へと発展していける様取り組みたい。
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	いつ利用者様に変化が起こりうるかはわからないので、ホームにおいてもすぐに対応が行えるよう、主治医との連携を中心に体制を整えておきたい。
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	○	今後、本人様が安心して生活していただけるような話し合いや、サポートを続けていきたいと思っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	法人策定の個人情報保護マニュアルを基に記録等の取り扱いに注意を払っている。プライバシーに関しては、利用者様の心を傷つけるような対応や、声掛けをしないよう心掛けています。	○ 利用者様は、私たちの人生の先輩でもあり、常に尊敬の気持ちを持って日々の仕事を行っていきたいと思います。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	日常生活の中で、利用者様との関わりをしっかりと、希望などを聞くようにしている。希望を表すのが困難な方においても、日々の表情などから受け止められるように努めています。	○ 担当者ごとにも利用者様1人1人の思いや希望をしっかりと受け止められる体制が作ってできれば、より良いホームにしていけるのではないかと考えています。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様からの希望があれば外出支援を行っているが、一定の人への支援に偏りがちになってしまっている。	○ 自分から、希望など言えない方に対しても、スタッフが声掛けを行い、一定の人だけでなく、皆様に同じようなケアが行ってほしいと思います。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	現時点では、併設されている特養へ着き1回散髪に行かれていた方がほとんどですが、髪型など、本人様の希望を取り入れて切ってもらっています。	○ 行きつけて美容室になるべく多くの人に行っていただけるよう、努力・支援していきたいと考えています。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者や職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	併設施設の厨房より、毎食が届くため、盛り付けや時々行う調理で、利用者様と共に行うようにしている。片付けではほとんどが職員中心となっているのが現状である。	○ 現在つき1回の調理レク、毎週日曜日の味噌汁作り、畑で採れた野菜での調理と包丁等を持つ機会が少ないので、増やしていけたらと思う。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	利用者様、皆様が嗜好の支援を全て受ける訳ではないが、食事や糖分制限に配慮しつつ、利用者様と共に考えて支援している。	○ 利用者様の要望にしっかりと耳を傾け、状況に合わせて楽しんでいただける事を一番に考えた支援を行いたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	出来る限り誘導で排泄していただけるよう声掛けを行い、職員同士でも情報を共有し、介護計画書作成の段階でも把握に努めている。	○	水分、排泄チェック表にて日々の状況、情報収集に努めている。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日、回数は職員側で決めているのが現状だが、利用者の要望等に耳を傾けて入浴を楽しんで頂けるよう努めている。	○	利用者様の要望に応じ、時間に配慮したり、夜間浴を取り入れるなどしている。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日常生活内容を工夫したり、利用者様の状況で入眠時間等工夫している。 日中に日光浴へ出来る限り参加して頂き、軽作業等して頂くようにしている。	○	出来る限り眠前薬等に頼らず、自然と入眠を促せるような支援を行いたい。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常生活の中で、利用者様との関わりをしっかりと、希望などを聞くようにしている。 希望を表すのが困難な方においても、日々の表情などから受け止められるように努めています。役割等の場面を作り出し、職員と一緒に行う事で、生活の張り合いを支援している。	○	もっと多くの利用者様の生活歴を知り、個々の支援につなげていけたらと思う。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家人様と相談し、保管はホーム側で行っているが、外出時の買い物等では利用者様本人が支払い動作等行えるよう見守り、支援を行っている。	○	毎週土曜の訪問パン屋さんでの買い物や、近くのスーパー等での買い物へ積極的に出かけ、品物を選ぶことから支払いまでの支援を継続したい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人様の希望にその都度対応している。 近くのスーパーであったり、自宅であったり、希望をその都度声して頂くよう努めている。	○	現在、要望を言える利用者様への支援に偏っているのでは、会話の中から行きたいところが分かるような支援を行いたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	日常会話の中で、思い出の場所や、季節に応じた場所へ、バス等の外出支援を行っている。	○	まだまだ、大きな目的を持った外出計画が少ないので、楽しみの目的を含めた外出支援を増やしたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	食堂へ公衆電話の設置をし、いつでも使用していただけるようにしたり、要望があれば手紙の代筆や電話を掛ける支援を行っている。	○	手紙の代筆等は減少しつつあるのが現状なので、家人様等に手紙を書く支援等を検討していきたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会者に対し、職員側から声掛けをしっかりと行い、いつでも気軽に訪問して頂けるよう支援している。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	外部研修や内部研修の中での勉強の機会を与え、常にケアを考える上で頭に入れて取り組んでいる。	○	外部研修・内部研修で学んだ事を、もっと詳しく全体ミーティング等で勉強していきたいと考えます。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は、玄関、正門共に開放しており、自由に出入りしていただけるようにしているが、夜間は安全の為に施錠しています。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中に見守り、付き添い、声掛けなどを行っています。夜間は状態確認のため、適宜訪室しています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	刃物など多くの人が使われる物は、スタッフが確認し、管理を行っています。 個人で持っている物にかんしては、スタッフが注意をしながら、なるべく本人様に持っていたできるようにしています。	○	刃物等はとても危険な為、個人で持っておられる方に対して、安全への声掛けを今後も行っていきます。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	参考書を読んだり、ミーティング時の話し合いの中で、事故防止に向けた知識を学んでいます。日頃から利用者様の状態に応じた対応の改善が必要に思います。	○	事故発生後、再発防止の面では取り組みができていますが、予防策の面では今後も取り組む必要があると感じています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	併設の病院と連携し、緊急時は主治医の支持の下、対応を行っています。急変時の対応マニュアルを参考に、個々ではありますが、勉強を行っています。	○	急変時にすばやく対応できるよう、今後も起こりうる危険についても学んでいきたいと思っています。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回避難訓練実施の他、法人での緊急時応援体制、連絡体制が、また、スタッフルームに災害対応に関する掲示を行っています。	○	今年度より、洪水警報、土砂災害警戒警報発令時への対応訓練を実施しました。今後、地域の方々にも協力をしていただけるよう、働きかけをしていきたいと思っています。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	サービス担当者会議の場を主に、リスクについて面会時などでも家族様と話し合いを行い、利用者様自身の状態を踏まえた対応を行っています。	○	日頃から、利用者様の日常生活において起こりうるリスクをとらえ認識し、家族様への説明を行っていききたいと思っています。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日頃から利用者様の状態変化や、訴えなどを見極め、併設病院への連絡の他、スタッフ同士、介護日誌へ記入し、情報の共有に努めています。	○	ちょっとした変化でも、全スタッフが情報を共有できるように今後も努めていきたいと思っています。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院受診時はスタッフが付き添い、主治医からの説明を聞き、本人様にもわかりやすく説明をする。内服薬は処方箋を参考にしています。	○	併設されている病院の管理の下、内服管理を行っており、今後もしっかりと内服管理を行っていききたいと思っています。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	朝食時の牛乳を冷たい物にしたり、個々でカスピカイヨーグルトを食べていただいている他、外気浴にあたってもらったり、体操をしていただいたりしています。	○	飲食物の工夫や、身体等を動かしていただくなどの対応をとっても排便がない場合は、坐薬や浣腸を行っているの、その際は確実に行っていききたいと思っています。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアを行い、歯科医院の往診がある時など口腔ケアに関して困っていることは相談するようにしています。	○	口腔内の掃除を、御自分で行っておられる方の磨き残しのチェックがあまりできていないように思うので、そういった方々の口腔内確認を今後行っていければと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスや食事の量に関しては、管理栄養士が主となり管理されています。食事や水分を摂取していただけるよう声掛けをし、記録するようにしています。	○ 夏季は特に脱水症状になるおそれがある為、水分を摂取していただけるように全スタッフが声掛けを行い、体調不良の方が出ない様支援していきたくと思います。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染対策委員会を設置し、併設されている施設と連携しながら、月に1回ミーティングを行っています。その他にも主治医からの指導や講習なども行っています。	○ すべての病気に対して常に危険意識をもって予防に努めていきたくと思います。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	冷蔵庫内の物や、家人様からの差し入れは常時確認を行っています。ホーム内で使用した調理用具などは、使い終わったらすぐに洗うなど、食中毒予防に努めています。	○ 利用者様に調理を手伝っていただく際に、しっかり手洗いをしていただき、手の消毒をいただいているので、今後も続けていきたくと思っています。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	日中はどなたでも出入りしていただけるように、シャッターや玄関は開けています。 見た目においても、入っていただきやすいよう、花を植えるなどの工夫をしています。	○ 近隣の人達がホームに足を運ばれるということがあまり見られないので、なるべく多くの人に来てもらえるようなホーム作りをしていけたらと思います。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関や食堂などには、花を生けたり、新聞や本を置くなどしているが、トイレや浴室においては施設感があるように思います。	○ 共用空間という場所なので、利用者様の意見を取り入れながら居心地のいい空間をつくっていきたくと思っています。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事をされる席において、気の合った方同士同じテーブルにしたり、ソファなど休んでいただける席の配置の工夫を行っています。	○ テーブルの配置など、何度を行っているが、今後も必要に応じてよりよい空間がつくっていきたくと思っています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物の持込は少ないが、小物類等に関しては、積極的に声掛けを行い出来る限り持ち込みまたは本人様と選り購入するよう努めている。	○	大きな家具の持込が少ないのが現状ですが、利用者様の見慣れた物等をもう少し持ち込んで頂けるよう支援したい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	出来る限り、自然の空気を取り入れるように努め、その都度個別の対応も出来るよう支援している。	○	温度差を感じにくくなっている利用者様や訴えをなかなか口に出せない利用者様の対応がしっかり行えるよう勉強していきたい。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している	廊下、トイレには多くの手すりが設置してあり、活用、ホーム内に段差はなく、安全に移動する事が可能である。床も転倒によるダメージを和らげられるようになっている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者様が出来る、したいと思われることを見守り、それとなくフォローすることで自信を持って頂ける様心掛けている。	○	自分に自信を持つことで精神的に安定し、生活全般に意欲が出るよう利用者様一人ひとりに合った提案をしていきたい。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	居室前のスペースは、利用者様の庭として花を育てたり、草抜きをされたり、好みに合った使い方をお勧めしている。リビングに続くウッドデッキでは犬を飼っており、皆、可愛がっている。	○	季節ごとにそれぞれのベランダに草花が咲き、季節をさらに感じて頂ける様、活用出来たらと考えます。

V. サービスの成果に関する項目		
項 目	最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいの
	<input checked="" type="radio"/>	③利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/>	④ほとんど掴んでいない
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある
	<input checked="" type="radio"/>	②数日に1回程度ある
	<input type="radio"/>	③たまにある
	<input type="radio"/>	④ほとんどない
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
	<input checked="" type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	④ほとんどいない
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
	<input checked="" type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	④ほとんどいない
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
	<input checked="" type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	④ほとんどいない
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
	<input checked="" type="radio"/>	④ほとんどいない
94 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
	<input checked="" type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	④ほとんどいない
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と
	<input checked="" type="radio"/>	②家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/>	③家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

私をはじめ、スタッフ一同は、認知症の方への対応等、まだまだ勉強不足で入居者の方へも迷惑をお掛けしていると思います。そんな中でもアピール出来る点と言えば、自然に囲まれたホームであり、庭、畑、鯉の住む池等がある事です。近くの野山では、季節毎に山菜も採れ、四季を感じる事ができます。畑には、入居者の方と一緒に作った野菜があり、皆で収穫を喜んで頂いています。中庭の鯉のエサやりや、ホームで飼っている犬のエサやりを入居者の方がされ、生き物とのふれあいもあります。また、近くに花回廊があり、季節毎の花を楽しんで頂いています。立地条件は、とても良いと思います。これを十分に生かしていく様、スタッフ一同、日々頑張っていきたいと考えています。